

国際日本学研究所がCOEや学術フロンティア推進事業活動の中で最初に設定したテーマの一つに「日本の中の異文化」がありました。国際日本学研究所は、当時、日本と世界を相対化する、メタサイエンスとしての国際日本学の確立を目指していましたが、北と南に存在した独自の世界を描き出すことによって、日本の中にも異文化があるということを明確にし、国際日本学研究の一助としていたわけです。今回、近年の北方史研究の高まりを受けて、国際日本学研究所としても改めて北方世界に光を当てていきたいと考え、日本の中の異文化研究会を再開することとしました。

再開第1回として下記の2本のテーマを設定しました。何れも最新の知見を踏まえたテーマです。北方史に興味のある方はもちろんのこと、広く国際日本学に関心のある方の参加をお待ちしております。

2023年

11月29日(水)
16:30~19:00



参加無料

事前申込が必要です

Zoomオンライン開催

瀧本 壽史

弘前大学教育推進機構
キャリアセンター特任教授

(司会)

小口雅史

法政大学文学部教授
国際日本学研究所兼担所員

中村 和之

函館大学商学部教授
国際日本学研究所客員所員

「本州アイヌの在りようと
蝦夷錦の受容をめぐる」



「蝦夷錦」(市立函館博物館所蔵)

「元・明・清代の中国史料に
みえるカラフトアイヌ」



謝遂『職貢図』庫野部分(国立故宮博物院所蔵)